



イ管  
600  
58



16  
600  
58

豐後州國埤郡

兩子寺  
畧縁起

兩子寺畧縁起

文化丁丑增補新鐫



豊後國足成山兩子寺略縁起。在土飯台市隱瀧澤解瑠吉甫代撰  
 玉匣兩子の寺ハ八隅知し人皇四十六の朝。元正天皇の養老二年秋八月  
 仁圃大士の用基たり。まじは法華序正流通の二派はつちる。本山中山末山  
 の七ヶ寺ハ四前伊員田洪安伎武藏東遷の六郷は延満一十九九所ハ  
 美山窟一百餘院の精舎あり法華全部の文字の教六万九千二百八十餘言  
 の神影弘像を安んずる。當初は双の靈地より恭惟する。兩山仁圃大菩薩  
 彦山陳氏の落胤我爾あり。聖言田の帝ハ幡大井の權化あり。欽明天皇  
 の十六年秋八月の比くとも尚初推せしや皇國へ投化し。大隅國兩子の浦に  
 の岸に之をひぬ。唐山彦の敬帝。紹泰元年ハ相丁たり。余りしや年豐豐慶の  
 國嶽に出居せし。又或は之ハ法蓮菩薩摩訶薩の體也。と云ふ四個の同列諸正のまじを  
 券縁。一説ハ法蓮菩薩摩訶薩大神比也。六郷三山草創の大誓願を果せしめて之を  
 也名を六郷山延力寺と名つは。是の寺ハ中山第一番置れり。ゆて養

老四年の秋大隅日向の隼人ホガ皇化は後を以て追討の官軍とす。其難  
 及びた仁圃詔を奉りしより。画ける不動明王の尊像を五智の岩を其體  
 ありて四個の徒分り共の五壇の秘法を修し。ゆて之の奇跡あり。朝敵  
 早滅ひたり。るまは度の勸賞ハ用用は贈又菩薩号を勅許あり。八百  
 餘所の莊園を封賜あり。まじて六郷山一名を師許の山と唱へた。昔又彼自  
 等の不動尊と法華七八品の巻軸をえたるを象と仰下せしことあり。帝  
 窟瞻あり。播縁のるまじを自畫表裝の風帯を宮中ハ留めよと。及よ  
 返させし。ゆて彼尊像を風帯あり。不動明王と唱なり。今後當あり  
 矣。室考り。ゆて向は春秋を歴す。桓武天皇の延暦二年癸亥冬十月  
 十六日仁圃大士示教し。花類の洞に入滅志あり。仙壽二百三十二歳。亦  
 有かり。檢者へ。まじは又年をとる。淳和天皇の天長年中能事と  
 矣。養老開祖の先蹤を追慕し。勤行三十餘年。及び誓祈果たり

空ろ。仁圃大士の示現より。入峯巡礼の義を再興せよと云。仁圃大士は  
告めり。當山に守護神あり。兩子寺の山内。二宇の社を建立す。兩所  
権現と密教の神あり。抑宇佐と六郷。八則神祇一跡あり。辟言ハ一腹双  
生の神あり。又神道と仏法の蓋の匣はあけり。一日も離るべし。昔  
これ三山の中嶽。兩子寺を建立せり。寧ろこの山に。兩所密教の神あり。  
後世他山の衰へても。兩子寺の密教の神あり。神佛守護の威徳より。  
守護の神あり。守護の神あり。守護の神あり。守護の神あり。守護の神あり。  
大井と。仁圃大士と相殿と。兩子権現則は。朱雀天皇の天女  
年中。南海の賊藤原純友誅伐のと。後宇多天皇の弘安四年。蒙  
古の君忽必烈。皇帝と。邦を龍入る。臣阿刺罕。范文虎。本を大  
將あり。軍勢より。十方餘騎。兵船を筑紫の浦より。六郷山の裏徒祖を奉り。凡帯る。不動を。五壇の中央に。掛る。書

三十二

善後権現の法行。被天慶の戒。弘安の蒙古の靈軍。戦  
い。破れ。十方餘騎の軍兵。皆大洋の底に沈て。僅に三人  
存命あり。今昔之度の法。戦を。朝廷も。柳營も。あけ。歎賞あり。  
あひて。恩賜あり。凡帯る。不動を。五壇の中央に。掛る。書  
亦皇都の。殿。三山の。用祖の時。あひ。有る。  
た。室町將軍の。季の。大友氏。當國の。守護。と。た。数度の。兵。亂  
あり。六郷三山。七十八ヶ寺。七十餘院。の。末。寺。あり。た。る。と。類。傾。し。  
佛。の。名。の。一。の。二。の。蘭。若。と。あ。り。た。る。と。古。來。の。  
道場。百王。護。の。靈。山。の。後。の。領。主。も。進。葉。の。文。祿。の。比。杉。原。  
伯耆守。長。教。ね。速。見。の。并。統。を。領。せ。り。慶。長。の。細。川。家。所。加。恩。の。  
地。あり。と。る。書。勅。及。家。臣。の。寄。附。状。今。の。領。主。も。至。り。て。も。  
代。祈。願。の。道。場。あり。と。る。書。勅。及。家。臣。の。寄。附。状。今。の。領。主。も。至。り。て。も。

上坊の東  
に塔あり。

御山の惣持院よりまゐりたり。又延宝の比順慶法印住持と云ふ。山に  
再興の志とゆへ、竟少の地をひきとり、七八院を再興し、檀越の戸数を  
整えて法燈の資料を充てる。切徳法賑莫大なり。是れ當山の開基より  
一千九十九年勤修の香煙間あり。正月の修正會の弘安の嘉例より  
八月の放生會の養老の舊規より。年次月次五節の新禱入坐の格式  
巡礼の作法は、當寺の恒例より。奇蹟も今ふ多し。中行者鹿の姿小刻  
と云ふ。鹿を鹿の御導をひきとあり。高峯の則鳥帽子嶽池衣石熊  
嶽北斗峯より。見井出の峯あり。居士の宝冠髻髪の記あり。仁王門  
より下馬あり。峯の貝吹石鹿の八石因徳坊あり。杖の石仏供の目付の指環。東  
石まの観音龍燈の松。架立。金田比羅の祠。居士相傳の續正堂あり。則降魔の  
灵壇の本尊より。観音菩薩。福善の量の本誓より。只も居士の芳躰を舊記より  
略述せしむ。六部御持院兩子寺現任。本山法印礼讚

三三三

